

伊万里湾開港を歓喜する

伊万里湾の総合開発は新市の運命を決する正に世纪の大事業である。本県としても県内並西九州綜合開発の前進に伴い、本港に臨海工業地帯造成の計画を樹立し、昨年日本港湾協会に調査計画を委託し、本年二月鈴木雅次博士一行を迎えた。三百年の伝統を有する鍋島陶器は有田を中心と/or>て広く知られていた。又幾多の史実にも富み、西歐文明導入も平戸が中心であった。三百年の伝統を有する伊万里焼の名は世人に親しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

鍋島陶器は有田を中心と/or>て広く知られていた。又幾多の史実にも富み、西歐文明導入も平戸が中心であつた。三百年の伝統を有する伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税関出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

然し乍ら永年の間に有田川、伊万里川の土砂流失並に伊万里より船積みされ、ついで伊万里焼の名は世人に親

しまれていた。明治三十二年には長崎税關出張所の開設となり大正の年間まで続いた。大正十年六月に第二種重要港湾に指定された。

テフレ下地方自治に対する考え方(2)

收入役 大川内善次

☆ 計画内容

湾内工業状況を見るに昨

二十八年度より伊万里市船

業の根拠地として活躍を約

束され、製水、給油、給水

多津等の漁港を有し遠洋漁

船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

て来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽

船は沖積みをなし活況を呈

して来た。然し乍ら眼を周

回に転ずると前面には広大

なる海域を有し、之に人工

代、楠久、向山等の各駁は

各自私有機橋を有し、ダル

マ返し又はベルトコンベヤー

で船積し小型汽船又は大

型機帆船の入港多く大型汽</

あなたは選挙権はありますか？

おばあさん、お肩をたまきましよう

相談ごと

は遠慮なく

援護のしわり……

(2)

児童委員は児童福祉司及び社会福祉主事に協力して児童の福祉について援助する人です。

二、児童委員

児童委員は児童福祉司及び社会福祉主事に協力して児童の福祉について援助する人です。

三、児童委員

児童委員は児童福祉司及び社会福祉主事に協力して児童の福祉について援助する人です。

四、児童福祉法

1. 對象者

A、要保護児童

B、保護者のない児童、或

はあつても、いじめられ

たり、しゃま者扱いにさ

れている児童

C、智能がおくれているた

めに小学校に行くことが

いために通学が無理な所

D、小児麻痺骨関節結核、

外傷等の原因で四肢や身

体に故障のある肢体不自

由児

E、親の労働或は病氣のた

め保育所に入所すること

が必要であると思われる

児童

F、親、兄姉、祖父母、祖

父母の兄弟、曾祖父母、

夫婦

ハ、児童福祉司

イ、福社事務所

ロ、児童相談所

シ、児童施設

ス、養護施設、精神薄弱

マ、母子世帯

ナ、母子世帯

オ、孤児

カ、職業孤児、引揚孤児、一

般孤児、棄迷兒等をい

う

ホ、母子世帯

ク、母子世帯

ル、孤児

ミ、母子世帯

ル、孤児

ル、孤児